

議会だより

題字：瀬戸谷中学校 3年A組 市川 優菜さん

Vol.
231

ふじえだ市議会だより
令和6年9月5日号

令和6年6月24日

藤枝小学校6年生

社会科見学に来てくれました！



児童からの感想



とても楽しそうで、
いつか議員になって
みたいと思った。

この貴重な体験で、市議会に
すごく興味がわいてきた。
今度、機会があったらぼうちょうして
みたいと思いました。



住んでよかったと思われる町を創りたい
と言っていてすごいと思った。



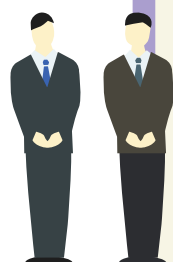
議会の様子を見てみたいと
思いました。



学校関係者様へ
社会科見学につきまして、ご希望がありましたら
お問い合わせください。

市議会定例会開会議会

市議会役職決定



市議会定例会開会議会が、5

月31日に開催され、会期を令和

7年4月24日までの329日間

としたほか、常任委員会及び議

会運営委員会の委員の選任及び

正副委員長の互選、一部事務組

合議員の選挙等が行われました。

議長には油井和行氏が、副議長

には平井登氏が選出され、その

ほかの役職・委員会の構成など

は次のとおりです。

(以下敬称略)

監査委員

増田克彦

議会運営委員会

議会の円滑な運営のために協
議し、意見調整を図ります。

委員長 多田 晃

副委員長 岡村好男

委員

山川智己・石井通春

八木 勝・神戸好伸

遠藤久仁雄・大石保幸

植田裕明

常任委員会

議案・請願などの審査を行
います。

◆総務委員会

委員長 山川智己

副委員長 大石保幸

委員

さとつまりこ・寺田亜記子

増田克彦・鈴木岳幸

多田 晃・山根 一

◆健康福祉教育委員会

委員長 神戸好伸

副委員長 川島美希子

委員

深津寧子・油井和行

遠藤久仁雄・岡村好男

山本信行

◆建設経済環境委員会

委員長 八木 勝

副委員長 大石心平

委員

池田 博・藪崎正幸

石井通春・平井 登

植田裕明

◆予算常任委員会

委員長 遠藤久仁雄

副委員長 藪崎正幸

委員

さとつまりこ・寺田亜記子

川島美希子・池田 博

大石心平・山川智己

深津寧子・石井通春

増田克彦・鈴木岳幸

八木 勝・神戸好伸

多田 晃・山根 一

平井 登・岡村好男

山本信行・大石保幸

植田裕明

◆決算常任委員会

委員長 深津寧子

副委員長 山本信行

委員

さとつまりこ・寺田亜記子

山川智己・鈴木岳幸

八木 勝・神戸好伸

山根 一・岡村好男

植田裕明

議会改革特別委員会

委員長 岡村好男

副委員長 大石保幸

委員

川島美希子・山川智己

深津寧子・石井通春

八木 勝

市議会広報広聴委員会

委員長 八木 勝

副委員長 大石心平

委員

さとつまりこ・川島美希子

市議会倫理委員会

委員長 植田裕明

副委員長 遠藤久仁雄

委員

さとつまりこ・大石心平

多田 晃・平井 登

大石保幸

駿遠学園管理組合議会

議員

神戸好伸・川島美希子

志太広域事務組合議会

議員

深津寧子・石井通春

増田克彦・八木 勝

神戸好伸・油井和行

平井 登・山本信行

正副議長あいさつ

64代 油井 和行 議長



市制70年、サッカーのまち100年の伝統ある藤枝市の議長と致しまして、市民の皆様の生命・安全・安心を守るため、市民の声を聴き寄り添い、また、市民の関心・信頼を高めるよう広報広聴活動の更なる充実と進化を進めたいと思います。近隣市町や県・国との繋がりを大切にして、緊密な連携を取りながら、自治体経営の一翼を担う議会として、市当局と議会との『パス』を繋ぎ、市民が「生活の中での幸福感」を感じることを『ゴール』と目指し、市議会全員で信頼される議会づくりに努めて参ります。

71代 平井 登 副議長



このたび議員各位のご信託をいただき副議長に就任いたしました。3期10年の間に経験させていただいた委員長職や、一般質問等で培った市当局との建設的な議論のやりとりは、私自身の大きな糧になっています。執行部並びに議会とともに、市民の生活向上と福祉の増進、安全安心なまちづくりのために日々励んでいます。市民に歓迎され、実効性の高い施策となるよう事業の中身や予算規模等を市民の側に立って検討し、最適解に導くよう努めています。議長を補佐するとともに、議会は市民の負託に応える立場にあることを強調してまいります。

新人議員より ひとこと



寺田 亜記子（藤のまち未来）

「市民の皆さまの心に寄り添い、幸せな未来を共に創ります」と掲げ立候補し、議員になりました。これからも初心を忘れず、一生懸命に活動して参ります。宜しくお願い致します。



多田 晃 議員
鈴木 岳幸 議員
油井 和行 議員
平井 登 議員
遠藤 久仁雄 議員
山根 一 議員

議員表彰 一般表彰
(議員在籍10年以上)

池田 博 議員

議員表彰 特別表彰
(議員在籍20年以上)

市議会議員として市政の振興に尽力されたことに対し、全国市議会議長会表彰規程により次の方々が表彰されました。

永年勤続表彰



令和6年6月定例月議会の概要 日程：6月28日～7月25日（28日）

令和6年6月定例月議会で審議した市長提出議案11件、議員発議案2件について、全議案とも原案どおり可決・同意とされました。

市長提出議案（第39号議案～49号議案）

- ・予算案件 3件
- ・条例案件 5件
- ・その他案件 2件
- ・人事案件 1件

※各議案については、藤枝市議会ホームページをご覧ください。



pick up!

「令和6年度藤枝市介護保険特別会計補正予算」（第1号）（第41号議案）

本年度施行した「認知症とともに生きる共創のまちづくり条例」に基づき、認知症施策に関する計画の策定及び認知症への理解を促進するため、所要の補正を行うものです。

「建設工事請負契約の締結について（（仮称）新陶芸センター・道の駅建築工事及び瀬戸谷温泉施設改修工事）」（第47号議案）

工事の概要については、陶芸センター及び道の駅の新たな建設並びに瀬戸谷温泉ゆらくの長寿命化工事を施工するものです。令和7年3月14日完成を予定しております。

議員発議案

発議案第12号 藤枝市議会会議規則の一部を改正する規則

発議案第13号 刑事訴訟法の再審規定(再審法)の改正を求める意見書

人事案件 次の人事案件について同意しました。

◆ 第49号議案 副市長 大畑 直己さん（善左衛門二）

議員研修会を開催しました

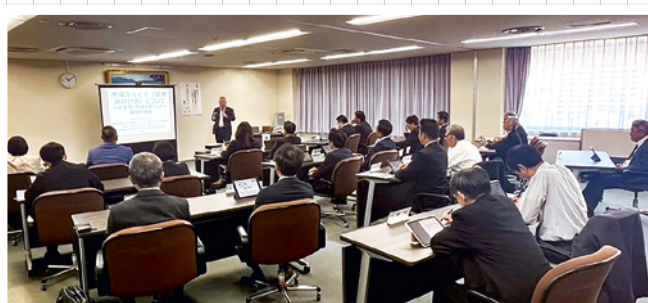
市議会BCP（業務継続計画）について～必要性和作成のポイント～

実施日 令和6年5月10日（金曜日）

講師 跡見学園女子大学

教授 鍵屋 一 氏

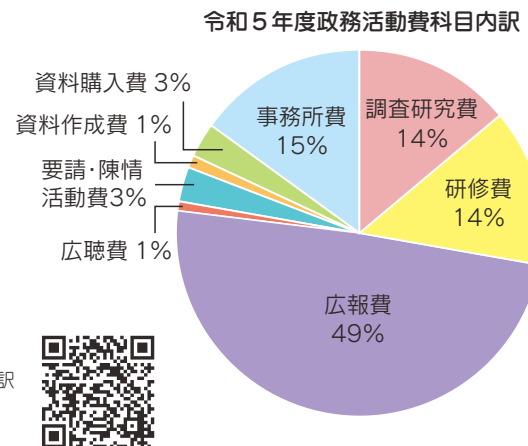
災害時の執行機関と議員の役割やBCP（業務継続計画）について、災害事例等を通してわかりやすく講演いただきました。



令和5年度 政務活動費

令和5年度政務活動費はこのように使われました。
政務活動費とは、地方自治法の規定に基づき条例で定められており、議員の調査研究その他の活動に資するため必要な経費の一部として、会派及び会派に所属しない議員に対し交付される費用です。藤枝市議会の政務活動費は、1人あたり年額300,000円であり、一括して年度当初に各会派（または議員）に交付され、支出に要した経費を控除して残余がある場合は市に返還しています。

※令和5年度の政務活動費の内訳はこちらをご覧ください



令和5年度 政務活動費科目別支出内訳

(単位：円)

	藤新会	藤のまち未来	日本共産党	公明党	池田博議員	計
交付額	2,862,174	2,100,000	600,000	600,000	300,000	6,462,174
支出内訳						
調査研究費	51,240	712,877				764,117
研修費	583,270		99,039	73,390		755,699
広報費	1,345,437	922,801	301,583		44,000	2,613,821
広聴費			5,670			5,670
要請・陳情活動費	135,330					135,330
会議費						0
資料作成費		20,720	26,310	19,380	2,110	68,520
資料購入費	14,256	11,160	38,482	116,006	11,160	191,064
人件費						0
事務所費	152,078	369,560	129,595	127,305	23,590	802,128
小計	2,281,611	2,037,118	600,679	336,081	80,860	5,336,349
返納額	580,563	62,882	0	263,919	219,140	1,126,504
実績交付額	2,281,611	2,037,118	600,000	336,081	80,860	5,335,670

～藤枝市認知症とともに生きる共創のまちづくり条例の制定に伴う研修会～

実施日 令和6年7月17日（水曜日）
講師 認知症介護研究・研修東京センター
副センター長 永田 久美子 氏

本年4月の「藤枝市認知症とともに生きる共創のまちづくり条例」施行に伴い研修会を開催し、認知症施策の講演と市の担当課の条例についての説明後、グループワークを行い、認知症施策の目指すべき方針の共有や条例の理解を深めました。



Q&A

一般質問

6月定例会月議会の一般質問は、
7月9日(火)、10日(水)、11日(木)の
3日間にわたり行われました。

- 議員が市の一般事業に対して、執行状況や将来の方針をただしたり、政策的な提言を行います。質問は1議員50分以内です。
- 一般質問コーナーの掲載記事は、発言議員本人からの寄稿によるものです。
- 市ホームページで議会録画映像の配信や「会議録の検索」により一般質問など本会議の詳しい内容も、ご覧になれます。



インターネット議会中継

会議録検索システム

本市の大規模災害対策について



公明党
山本 信行 議員



問 家庭での雨水貯留施設の設置補助について検討状況を伺います。

答 雨水貯留施設は、志太地域流域治水協議会で作成した水災害対策プランにおいて、雨水の流出調整への効果が位置づけられた。来年度からの予算化に向けて検討しており、現在その周知に努めています。

問 高齢者・障害者施設の携帯トイレ備蓄についてですが、携帯トイレを備蓄されていない事業所が半数近くあり、具体的にどのような取り組みでいくのか伺います。

答 衛生面の悪化は被災者に多大なストレスを与え二次、三次の被害につながる大変大きな問題であり、この教訓を生かす事は急務であることから、各事業所が策定する防災計画やBCPに、トイレ対策を盛り込むよう促すとともに、計画に基づく携帯トイレの備蓄を支援していきます。本年度中に携帯トイレ整備費の一部を支援するための費用を予算化し、児童施設も含め、福祉施設全体の防災力の向上に努めていきます。



カスタマーハラスメント対策について



藤のまち未来
鈴木 岳幸 議員



問 市職員に対するカスタマーハラスメントの実態と対策について伺う。

答 市役所には多くの方が来庁しており、カスタマーハラスメントに類するケースは一定程度発生している。カスタハラが発生した場合は人事課に報告することとしており、必ず複数人で対応する他、警察と連携するなどして職員個人に負担がかからないようにしている。発生後には警察や弁護士等による相談体制を確立している。

問 市内民間事業者に対するカスタハラ予防に向けた取り組みはどのように行われているか。

答 商工会議所などでカスタハラ被害を受けた従業員のメンタルヘルス相談など専門家による無料の相談体制を構築している。今後は市内企業向けに、厚労省が策定した「カスタハラ対策企業マニュアル」を活用し、市のHPやメルマガなどを通じて未然防止などの啓発に努めていく。

問 今後の藤枝市のカスタマーハラスメント対策はどのように行っていくか、伺う。

答 カスタハラは働く人にストレスを与え業務に支障をきたし、組織に時間やコストなど多大な損失を招くもので、看過できない。厚労省も事業者に対策を促している。今後は商工会議所などにより一層連携を強化し、カスタハラに対する情報提供やセミナーの開催など、従業員の健全な労働環境の確保に取り組み企業を伴走支援していく。





藤新会
山川 智己 議員



子ども基本条例に基づく子ども施策について

問 子どもの貧困について、民間と連携した支援の拡充をどう考えていくか。

答 市では、NPO法人などと連携し、「子ども食堂」や「子どもの居場所事業」に力を入れていく。企業の方々と子ども食堂の視察を行った際には、「食料提供など何らかの支援を継続的に行いたい」という申し出をいただいた。子どもや子育て世代にやさしいまちづくりに向け、産業界のそうした思いを、支援を必要とする方々にしっかりと結び付け、市全体で考えていく体制を作っていくたい。

問 「れんげじスマイルホール・キッズパーク」の施設全体の利用を、こども中心の利用方法に変えていく考えはあるか。

答 親子や子ども、成人、高齢者を対象とした様々な教室をスポーツゾーンでは催しているが、教室がないときは、スポーツゾーンを活用した鬼ごっこイベントなどのお楽しみ企画を実施している。また、スポーツゾーンの開放も、指定管理者の柔軟な対応により、こどもたちが広々と遊べる運用を図っている。

議員のひょうご

酷暑の中、小さなこどもたちが遊べる場所は限られています。全天候型の「れんげじスマイルホール」を全体としてこどもが遊べるようにして、こどもたちと保護者の笑顔があふれる場所にしていきたいです。



藤新会
大石 心平 議員



大規模災害時の防犯対策について

問 平成十三年に新聞店と取り交わされた支援協定の実効性と課題を伺う。

答 昨今の大規模災害発生後は、避難によって無人状態になった地域や警察等が人命救助活動に集中している隙を狙った窃盗や空き巣などの犯罪が問題となっている。このため、市内五社の新聞店及び警察と連携した防犯対策を盛り込んだ新たな協定を本年度中に締結する。具体的には、配達用バイクのドラレコを「動く防犯カメラ」として被災地域に配置し犯罪抑止体制を構築していくため、警察、新聞店、自治会と課題の洗い出しや検証を進め、犯罪抑止力を高めていく。



子育て支援施設の今後について

問 「藤枝おやこ館」の入るB・V・I藤枝の借地契約更新にあたって本市としての取り組みを伺う。

答 官民連携で全面的なリニューアルを進め、藤枝おやこ館も更なる機能、魅力の向上やこどもが遊べる新たな新施設の導入などの検討を進める。全面リニューアルとなった際にB・V・Iの核となる屋内型のキッズパークなどといった考えはあるか伺う。

答 今後のリニューアルに関しても藤枝おやこ館の運営協議会と一緒に考えていきたい。



藤新会
神戸 好伸 議員



高田菰田川の氾濫

問 数田川改修の残580mの今後の予定は？

答 数田川残580mの改修は、カワバタモロコ保護の観点からバイパス水路案を進めており、決定後、町内会に報告する。

清里遊水公園として新たなスポットに

問 改修された数田川の起点からの水は、遊水公園に流れます。湿地帯には花菖蒲やハスの花が咲き湖畔の木々には鳥たちの囀りが聞こえ川面すれすれに飛ぶカワセミが注目されます。

更に下流にはMYFCの練習場があり、サポーターやファンが応援席を埋め尽くし、隣接された多目的広場には、誰でも一緒にプレイできるパークゴルフを楽しんでいます。体験農園では小学生が泥んこになりながらレンコンを収穫し、ヘラブナや鯉などの釣りも出来て、多くの観光客が集まっております。これは私の想像でありますが葦が蔓延り絶滅危惧種のカワバタモロコを護りながら新たな遊水公園を開発されたらいい・・・。

答 現在河川改修による治水対策を進めていますが、貴重な自然環境にも配慮する中で、堤防や水辺などの河川空間を活用した交流の場の創出も含め、神戸議員の提案も参考にし、より良い活用方法を検討していきたいと考えております。



日本共産党
さとう まりこ 議員



子供の豊かな育ちを支える学童保育について

問 毎日の外遊びが15分前後と非常に短い所がある。また、夏休みには酷暑で外遊びが全くできないと言う事態に対応が必要ではないか。

答 季節や天候により制限があるが各クラブでは、プログラムに30分以上外遊びが割り当てられており極端に少ないとは考えていない。

問 なぜ体育館や図書館の利用が進まないのか。

答 学校の安全管理等の問題もあり、学校終了後に貸出していない施設使用は難しい。

問 指導員は主任も含め全員非正規雇用。知識や経験が必要とされ命を預かる責任の重たい仕事だが非正規でよいのか。

答 教員免許や保育士資格保有者もいる。研修も受け、知識も経験もあるから、非正規でも問題ない。学童への子どもを、どのように聞か。

答 アンケートを実施し、意見箱を設置する。



議員のひと言

楽しい学童保育のために、指導員の増員が必要。知識経験資格を持つ人が非正規雇用なのは問題。改めるべき。学校との連携を強め、子どもと保護者の声をよく聞いていってほしい。



藤新会
植田 裕明 議員



北村市政5期目の抱負と今後の市政経営について

問 16年ぶりとなる選挙をふり返っての総括は？

答 多くの生の声を聴くことができ、今後の市政経営の在り方、政治姿勢において、新たな方向性を見出す貴重な機会になったと考えている。

問 “幸せになるまち” 藤枝づくりの展開は？

答 「幸せ」を実感できるまちを創ることが、市政の究極の目標であり、市長の最大の責務であるので、実現に向け、さらに市民に寄り添い、心血を注いで取り組んでゆく。

台南市との友好交流について

問 議会同士の友好協定に対する当局の見解は？

答 本年2月に締結された市議会と台南市議会との友好協定については、これまでの交流がさらに深化することや今後の幅広い分野での交流につながる事が期待されることから、大変意義があるものと考えている。

問 国際的に高い評価を受けた台湾のコロナ禍への対策に対する本市の考えは？

答 台南市から本市へ医療物資の支援があり、有効に活用の上、昨年度、台南市へ副市長が訪問した際に、直接感謝の意を伝えた。感染症の大流行などに備え、国と基礎自治体の役割分担の動向を見極め、本市における今後の新たな感染症への対応の検討を進める考えである。



藤のまち未来
岡村 好男 議員



『北村市政5期目の意気込みについて』持続可能な都市にする革新的な政策について

問 高洲地区の市街化調整区域等の独自の規制緩和について伺う。

答 高柳・高岡四丁目・築地地区は、「土地利用誘導地区」に選定し土地利用方針を定める予定。

問 新東名藤枝PAへのスマートIC設置について伺う。

答 この構想は、企業誘致や災害対応・観光面等々地域には大きなメリットがあり、昨年度より設置条件の確認等の協議をはじめた。現時点では目標時期の明示は困難だが、庁内関係課により検討を開始し、市としての方針を定めていく。

問 藤枝シティ・トレセン構想の進捗を伺う。

答 総合運動公園内に構想の核となる滞在型交流拠点づくりを、令和8年度頃の完成を目指して進めている。堀之内地区の土地利用はこれに合わせて一体的な利用を想定している。

問 今後の市政経営の決意について伺う。

答 目指すところは市民の皆様への「幸せ」。選挙戦でお聞きした市民の皆様の切なる声と市政への期待を力に、市政経営に邁進していく。



議員のひと言

「変化にはスピード感を持った対応を！」



日本共産党
石井 通春 議員



精神障がい者への交通費助成

問 精神障がい者が施設に通う際の交通費の負担が重く、通えるのに通わないケースがある。関係者からの要望もあり検討すべき。

答 自らの足で施設に通う事は将来の就職に向けた取り組みとしても大切。交通費助成の実施に向けた検討を進める。

大井川の水を守った前知事の立場を

問 大井川の水の減少、水質悪化は許されない。JR東海は2013年に毎秒2トン減る水の全量が大井川に戻す約束をしたが未だにその手法を示していない。前知事はこの達成なく工事を認めなかった。新知事は最後には政治判断もあり得ると発言、これからが正念場だ。この問題の解決なく、市も工事は認められないはずだ。

答 水問題の解決なくして工事はあり得ない。許可権は県で政治判断されたらどうしようもない。住民と協議するようJRに働きかける。

問 市に権限なくとも、市長の発言は非常に重い。JRは開業の遅れを静岡の責任と何度も記者会見を開き、もっと深刻な他県の工事の遅れを隠す卑劣な会社だ。そういう会社と非公開で協議を持つべきではない。

答 意志の決定など、重要な事項については今後公開していくようにしていきたい。



藤のまち未来
川島美希子 議員



子ども達に視点をのいた学びの環境を

問 児童・生徒用端末の昨年度の故障台数・代替機台数と通信環境の改善等の今後の対応は。

答 故障は1568台。代替機は300台。修理に最長4か月かかる。端末更新時には予備機として15%分(約1600台)を確保する予定。通信環境の改善の検討も進めている。

問 ほかの自治体の児童・生徒用端末のOSはクロームが多いが更新予定の端末のOSについては。

答 教師の異動を考えればクロームが適するが、児童・生徒の利便性を中心に考え、現在丁寧な検討を進めている。

敬老の日・はたちの集いについて

問 今年度の敬老の日の対象者と要する経費は。

答 対象者の75歳以上は約2万6千7百人、経費は7120万円の見込み。

問 自治会で式典を開催する補助が1人1700円だが、式典をやっていない地域は？

答 令和5年度は、全体の74%は金品の配布のみ。問 はたちの集いは、現状300万円の経費であるが、集中開催にしてもっと投資してはどうか。

答 分散、集中開催も含めて予算を有効に活用し、アトラクション等の企画を盛り込む等参加したくなる式典となるよう検討する。

議員のひごひこ

子ども・若者に投資するというのは、未来への投資！



公明党
大石 保幸 議員



健康予防、心不全への対応について

問 市立総合病院に設置されている「心不全地域連携チーム」の活動について伺う。

答 医師をはじめ「心不全療養指導士」の資格を有する看護師などからなるチームを立ち上げ、医師会と多職種連携・地域連携による切れ目のない体制での支援を進めている。

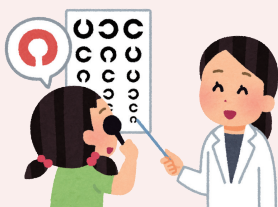
子どもの健全な育成に関連して

問 登校が難しく学校で実施される健康診断に参加できない児童生徒に対して、学校以外で受診する体制の整備ができないか。

答 受診しやすい環境を作るため予算を確保し「かかりつけ医」等で健康診断を受けることが出来るよう今後体制を整備していく。

問 最近、SNS上の誹謗中傷を防ごうと幾つかの自治体で条例が制定されてきている。本市においても「(仮称)インターネット上の誹謗中傷等の防止条例」を検討できないか伺う。

答 SNSの書き込みで、いじめや自殺を誘発することもあり、深刻な社会問題となっている。この被害防止は重要なことであり、今後、課題を抽出して条例の制定に向けて研究していく。





藤新会
深津 寧子 議員



クリーンセンター整備とごみの減量化について

問 クリーンセンター工事の進捗状況について

答 令和五年十一月より焼却施設となる工場棟の建築本体工事に着手。現在全体工程の概ね10%の進捗。来年一月から、工場棟内に設置するプラント工事に着手予定。その後管理棟などの建築工事を経て、令和八年度に供用開始予定。



新たなクリーンセンター（イメージ）

アフターコロナにおける病院経営について

問 地域医療における今後の病院の役割と取組方針について

答 高齢化の進展に伴う在宅医療等のニーズの増加に対応するため、浜松医科大学と連携し、（仮称）藤枝市家庭医療センターを来年度中を目処に開設することにより、総合診療専門医の養成を進める。また、急性期と回復期の切れ目ない医療提供体制を構築するため、市内の回復期病院と連携し、地域医療連携法人を設立することを目指すしている。



藤新会
藪崎 正幸 議員



選挙について

問 選挙の投票率を上げるには？

答 毎回、投票率が下がっているのに期日前投票の割合は上がっているのので期日前投票の場所や日時を増やすなどして対応していく。

岡部リサーチパーク基本構想について

問 新東名藤枝岡部インターチェンジ周辺の開発や展開について、岡部リサーチパーク基本構想というものがあるがその今後は？

答 すぐに出来るものではないが、岡部町時代のこの施策は当然考えには入っている。工業用地だけでなく居住地域としても構想に入っている。

学校給食無償化について

問 子供はこれからの未来を背負っていく国の宝である。義務教育の間の学校給食を無償化にすることによって子育て世代の負担の軽減や、また若者世代の藤枝市への移住や定住につながると思うがいかがか？

答 学校給食無償化は国全体でやることであって今難しい。

議員のひょうたん

今回の質問の岡部リサーチパーク基本構想について、学校給食無償化についてはなかなかすぐには実現できることではないのはわかっているが、今回だけに限らず訴え続けていきます。



藤のまち未来
寺田亜記子 議員



藤枝市認知症とともに生きる共創のまちづくり条例について

問 本市の認知症条例に関連した施策についてお伺いします。

答 本年4月に県内初となる認知症条例を施行した。認知症当事者の交流の場や、若年性認知症の方と家族の交流会、認知症の方にやさしいお店・事業所認定制度等を実施している。

問 具体的な施策の計画についてお伺いします。

答 本年度「認知症施策推進計画」を策定。認知症の方や家族が安心して暮らせるよう、共創を実現する施策を総合的、且つ計画的に推進する。今後は、学校教育も含め、こどもの頃から認知症の方と触れ合う機会や、認知症の方やご家族等の継続的な雇用が可能になるよう環境整備を図り、事業者や関係機関等とともに取組を強化していく。

問 本条例による支援と、介護保険サービスとの主な違いをお伺いします。

答 「介護保険サービス」は、介護を必要とする人が日常生活を営むためのサービス。一方、条例による支援は、本人や家族だけでなく、関係機関を含め、すべての市民が安心して認知症とともに生きることが出来る共創のまちづくりを進めるものとなる。

問 認知症について学ぶ機会の創出について、お伺いします。

答 認知症の発信動画を作成し、講座等の機会を通して幅広い年代への啓発につなげる。





藤のまち未来
遠藤久仁雄 議員



市民と共に、交通事故の減少に向けて（続編）

問 道路上の白線が消えかかっている箇所が多く見られる。新たに引き直しをお願いしたい。

答 危険度の高い箇所や、学校周辺の通学路等を優先し、区画線の引き直しを計画的に実施している。また、市道以外については、県道の管理者である県をはじめ、横断歩道など交通規則に係るものについては、警察に対し随時、区画線の引き直しを要請している。市道においては速やかに対応するため、9月補正予算で計上し、危険度の高い路線を中心に、区画線の塗り直しを重点的に実施していく。

問 警察庁は令和8年9月から、住宅街などの生活道路の法定最高速度を時速30キロに定める計画である。2年後といわず、藤枝市はこれを取り組む市民運動として取り組みたいが如何か。

答 生活道路における法定速度は、警察庁が既に6月にパブリックコメントを実施している。そして生活道路の定義は今後明確にされると思われる。本市では国の動向を踏まえ、施行を待たずに生活道路の条件などを適切なタイミングで発信していく。

様々な機会を捉えて、地域や関係団体と共に市民への啓発に努め、強い気持ちを持って進めていきたい。



「交通事故は、いつでも、どこでも、だれにでも」



藤のまち未来
八木 勝 議員



部活動地域連携・移行への課題と方向性

問 令和8年度地域移行に向けての課題と方向性について

答 基本的にエリア制もしくはセントラル方式による合同部活動に移行することを目指し、関係団体等と協議を重ねながらすべての生徒が希望する種目へ参加が可能となる体制を整えたい。令和5年度から配置している「地域部活動推進コーディネーター」をさらに1名増員し、2名体制で取り組む。今後も生徒や保護者の声を生かしながら、部活動在リ方検討委員会や、関係団体と連携しながら着実に進めていく。

香害と化学物質過敏症

問 どのように捉え考えているかについて

答 化学物質の安全性・危険性について完全には解明されておらず、対策や安全な予防は非常に困難であると考えている。国の動きを注視していく。市民への更なる周知啓発に注力していただきたいと考えるがいかがか

答 化学物質過敏症の中でも特にこの「香害」については、未解明な部分が多いとはいえ、誰でも日常的に使用する身近な家庭用品の問題である割にまだまだご存知ない方が多い印象。ポスターやチラシなども積極的に活用し周知に努めていきたい。

議員のひょうご

部活は生徒の気持ちを真ん中に！

議会タウンミーティング開催について

「議会タウンミーティング」を下記のと通りの開催予定です。

議会活動報告や質疑応答、議員と市民の皆様との情報交換の場となりますので、ぜひ多くの方のご参加をお願いいたします。

※参加申し込みは不要です。

令和6年10月12日(土) 14時～16時(受付開始:13時30分) 青島北地区交流センター
令和6年10月19日(土) 14時～16時(受付開始:13時30分) 西益津地区交流センター
令和6年10月20日(日) 14時～16時(受付開始:13時30分) 藤枝市役所大会議室

※変更となる場合があります

9 月市議会定例月議会

9 月定例月議会は、9 月 2 日から 10 月 3 日までの 32 日間で開かれる予定です。

9 月 2 日 本会議 1 日目(☆)
議案上程等
10 日 本会議 2 日目(☆)
一般質問
11 日 本会議 3 日目(☆)
一般質問
12 日 本会議 4 日目(☆)
一般質問・議案質疑等
13 日 現地審査

9 月 17 日 常任委員会
18 日 決算委員会①
19 日 決算委員会②
20 日 決算委員会③
24 日 決算委員会④
10 月 3 日 本会議 5 日目・採決等(☆)

☆藤枝市議会ホームページでも
ご覧いただけます。



常任委員会審査レポート ピックアップ!

総務委員会

第 39 号議案 令和 6 年度藤枝市一般会計補正予算(第 2 号)
地域生活総合サポート事業費

朝比奈地区の高齢者を対象に健康チェック、運動、交流、買い物支援をワンストップで実施するもの。

令和 6 年度はモデル事業として実施するが、今回実施した課題等を整理したうえで、継続していくための体制作りを検討していくことなどを確認し、委員会としても可決すべきものと決定しました。



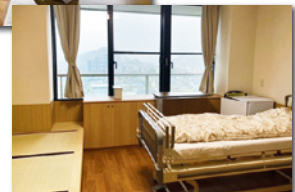
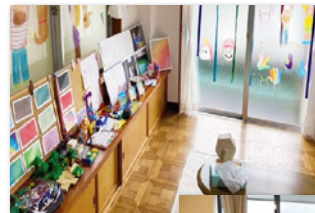
本会議
可決

健康福祉教育委員会

現地調査

- ①発達に課題のあるこどもの居場所づくり事業について
- ②藤枝市立総合病院緩和ケア病棟について

「学校に行けない」あるいは「学校に行かないと選択している」子どもたちの居場所づくりとして訪問支援、居場所支援、保護者支援を行う今年 6 月 24 日に開所した「集まれ・遊笑舎!」(駅前 2 丁目)と、4 月 1 日に開設した藤枝市立総合病院の緩和ケア病棟について現地調査を行いました。



▲野田沢地すべり対策の現地審査の様子

建設経済環境委員会

第 39 号議案 令和 6 年度藤枝市一般会計補正予算(第 2 号)
岡部町野田沢地内れすべり対策事業費

令和 6 年 3 月に発生した地すべりについて、地質調査や測量・設計及び応急対策工事を実施するもの。現地では降雨による崩土があり、水路閉塞などが発生している。現在、降雨予報の際には自治会長を通じ、住人に自主避難を呼び掛けており、安全安心を確保するためにも必要となる災害対策であることを確認し、委員会としても可決すべきものと決定しました。

本会議
可決

